

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会(全体会)

区分	内容
テーマ・事業名	南区まちづくり活動サポート事業【事業費予算 2,500千円】
事業目的・概要	地域活動団体や企業と連携を図り、多様な資源や新たな視点によるアイデアを活用して、より効果的な協働による事業展開を図るため、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げるさまざまな地域課題の解決につながる取り組みを、1事業につき50万円以内(過去に本事業で実施したことのある場合は30万円以内)で募集して事業委託する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>本事業は9団体から応募があり、令和5年4月26日(水)に書類選考による一次審査、令和5年5月19日(金)にプレゼンテーションによる二次審査を経て、7団体を採択した。各団体における事業実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆『困ったときはお互い様』ひろがれ人の和・地域の輪【大郷地区コミュニティ協議会】 地域住民同士が広く顔のみえる(わかる)関係となり、できるだけ多くの人と顔見知りになることを目的に、大鷲小学校児童と地域が協力して、敬老会での演劇や地域食堂を企画・実施することで世代間交流を行った。 ◆地域で守るふるさとの景色と収穫祭【新飯田コミュニティ協議会】 「新飯田有願の里 おどまつり収穫祭」を新飯田公園ふれあいパーク有願の里公園で令和5年10月21日(土)に開催。小中学生と地域農家が協力して、新飯田地域で収穫された果物や野菜の販売会を実施したほか、ペットボトルライトによるイルミネーション飾り付けを行い、地域の子どもたちと大人の交流の場となった。 ◆あじかた食の歴史ロマン隊【味方地区コミュニティ協議会】 小、中学生が地元の食材や食文化の魅力について理解を深めることを目的に、野菜の栽培や収穫、新メニューの考案など体験的学習を実施した。小学校ではねぎや大根を使ったお弁当、中学校では地域の代表的な食材「れんこん」をメインとしたオリジナルの「れんこんパスタ」を完成させ、オリジナルメニューのチラシや冊子を作成した。 ◆茨曽根マルシェinサマーフェスティバル2023【コミュニティ茨曽根】 多世代交流を目的に、地域の方が自分達で考えて出店し参加する「茨曽根マルシェinサマーフェスティバル2023」を令和5年8月19日(土)に開催。 イベント準備から小学生に参加してもらい、イベント当日には販売ブースの店長を勤めてもらい、地域の人と交流を深めるイベントとすることが出来た。 ◆食育を通じた「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」【大通子ども食堂運営委員会】 「食」を通して、身近に信頼できる大人がいることを地域の子どもたちに知ってもらう目的で子ども食堂を立ち上げ、令和5年8月から令和6年2月までに7回開催した。延べ参加人数は子ども 146人、大人 82人、ボランティア 105人と多様な家族の参加があり、子育て支援の一助とすることが出来た。 ◆温故知新 ～愛するまち庄瀬【庄瀬地域コミュニティ協議会】 地域の商業が賑わいを見せ、活気に満ち溢れていた頃の庄瀬を若い世代に語り継ぐための資料を残すことを目的に、冊子「温故知新～愛するまち庄瀬」を作成した。小学校の授業の一環として子どもたちが地域の高齢者へ取材を行うことで多世代交流の機会となるなど地域で協力して、作り上げることが出来た。 ◆地域ポータルサイト「(仮称)南区ナビ」の制作【秋は南区！フェスタ実行委員会】 南区のイベント情報や飲食店など、地域情報を広く扱うポータルサイト「みなみナビ」を立ち上げ、サイトの運営を開始した。
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 採択されたそれぞれの団体が、地域の魅力を最大限に発信し、南区の活性化につながる個性あふれる事業を展開していた。 ○ 区内外のさまざまな地域活動団体や企業が事業の取組みを自治協議会で発表することで、自治協議会委員に事業実施にかかるノウハウや企画に関する新しい視点を共有することができた。